



### 平成18年度水道技術管理者研修会（11月21日・22日）

約150名の参加を得て、水道事業の現状と課題、水道水源確保の現状と課題、水道水の安全確保の現状と課題、水道ビジョンー経営改革と長期構想についてー、水道施設の危機管理について研修が実施された。

本研修会では毎年特別講師として各界の著名な方に講演を依頼しており、今回は数学者・大道芸人のピーター・フランクル氏が「人生を楽しくする方程式」と題して講演を行った。



### 平成18年度水道技術管理者資格取得講習会

本講習会は、水道法施行規則第14条第3号の規定に基づき、厚生労働大臣の指定機関として、水道技術管理者の資格を取得しようとする方を対象に学科講習及び実務研修を実施している。学科講習は、毎年度、東京、大阪、福岡で行っている。本年度の学科講習東京会場は、10月に本会川口研修所及び会議室、大阪会場は10月に関西大学天六学舎、福岡会場は11月に福岡市水道技術研修所において開催した。

1. 実施期間：川 口 研 修 所 10月3日～10月24日  
日本水道協会会議室 10月11日～10月31日  
関西大学天六学舎 10月24日～11月14日  
福岡市水道技術研修所 11月7日～11月28日
2. 参 加 者：435名
3. 学科講習科目：水道概論、水道経営、水質概論、衛生管理、水道計画、水道水理学・構造力学、土木材料及び施工法・水道資材、水源・貯水施設・取水施設、導・送・配水施設、浄水施設、機械・電気設備、計装設備、給水装置、水源・原水及び浄水処理の水質管理、送配水・給水の水質管理（水質異常時の対応含む）、微生物概論、生物概論、浄水場見学、工場見学

### 平成18年度水道技術者研修会（中級コース：11月6日～11月17日）

正会員及び賛助会員の技術職員（水道歴概ね3年以上）の方々約100名の参加を得て、「水道経営」「水道計画」「水道基礎工学」「取水・貯水施設」「導・送・配水施設」「浄水施設」「漏水防止」「計装設備」「電気設備」「機械設備」「水質管理」「水質検査」「給水装置」「水道技術の現状と課題」について研修を実施した。

## 平成18年度浄水場等設備技術実務研修会

(第4回：11月6日～11月10日、第5回：12月4日～12月8日)

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作を実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

## 第135回水道技術管理者協議会（11月1日・2日 於：那覇市）

那覇市水道事業の概要について説明を受けた後に、水道用資器材の規格の改正、バルブやサドル付分水栓等に用いられる黄銅材料の取り扱い、本年7月に発行した水道維持管理指針2006の改正のポイント、水道水質の安全性とおいしさについての報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

第2日目は、沖縄県企業局海水淡水化センターにおいて海水淡水化施設の視察を行った。

## 第86回機械・電気・計装専門委員会（11月15日・16日）

「水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集」の最終原案について、審議を行った。なお、タイトル名は、当初「水道設備（機械・電気・計装）実務マニュアル」となっていたが、利用者にとって、より分かりやすいものとするため変更した。

## 第29回 ISO 審査登録センター・判定委員会（11月20日）

議題①前回委員会議事録の確認、②(株)遠山鐵工所・更新審査の判定③その他について審議し了承した。

## 第1回調達方式検討小委員会（11月21日）

議題①「正・副委員長の選出」について審議し、委員長には、札幌市水道局総務部長の湯浅委員が就任し、副委員長には、広島市水道局施設部計画課課長補佐の益田委員が就任した。

続いて、議題②「調達方式検討小委員会検討スケジュール」、議題③「調達方式検討小委員会の検討内容」、議題④「調達方式における検討課題」について、それぞれ審議した。

## 第155回工務常設調査委員会（11月24日 於：横浜市）

規格の制定・改正関係は、水道施設に関する規格専門委員会において検討してきた、水道配水用ポリエチレン管（JWWA K 144）及び同継手（JWWA K 145）に呼び径50を追加する規格改正について決定した。また、水道用塗料等に関する規格専門委員会において、水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 135）の規格原案を作成することとした。

次に、本年8月に発生した広島県送水管トンネル事故の教訓を活かすための検討会（広範囲に影響を及ぼす施設事故に関する課題検討会）を設置すること、及び水道施設の事故事例集（仮称）を作成することについて決定した。

また、機械・電気・計装専門委員会で検討している「水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集」の作成状況等について報告した。

#### 第848回会誌編集委員会（11月27日）

本誌12月号、1月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

#### 第57回中小規模水道問題協議会（11月27日）

はじめに、東洋大学経営学部教授石井晴夫氏より、「変革期にある水道事業への対応策と料金制度改革」と題して講演が行われた。

その後、情報交換事項として①資金運用に係る状況について、②広告料収入の取り組みについて、③水道料金のクレジット決済について、④浄水場運転管理業務の委託について、それぞれ情報交換を行った。

#### 第1回総合評価導入検討小委員会（11月28日）

議題①「正・副委員長の選出」について審議し、委員長には名古屋市上下水道局技術本部計画部主幹の岡田委員が就任し、副委員長には神奈川県企業庁水道電気局水道施設課浄水電機班副技幹の大内委員が就任した。

続いて、議題②「総合評価導入検討小委員会検討スケジュール」、議題③「総合評価導入検討小委員会の検討内容」及び議題④「総合評価導入における検討課題」について、それぞれ審議した。

#### 第12回水道 GLP 認定委員会（11月28日）

仙台市水道局の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

#### 第23回 給水装置に関する規格専門委員会（11月28・29日）

（議事：水道用ステンレス製サドル付分水栓等 5回目の審議）

今回は、ステンレス製サドル付分水栓の試験立会結果の報告、ステンレス製サドル付分水栓、ステンレス製止水栓の規格制定案及びステンレス鋼管継手（JWWA G 116）の規格改正案の審議を行った。

### 第255回理事会（11月29日）

赤川専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「安全でおいしい水道水推進運動の実施について」、報告事項2「第2回 IWA-ASPIRE 地域会議参加・展示会視察及び論文募集について」、報告事項3「広範囲に影響を及ぼす施設事故に関する課題検討会（広島県事故ケーススタディー）の設置について」、事務局より提出した資料に基づき説明を行い、報告の通り了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第75回総会会員提出問題等の処理について」、第2号議案「水道料金制度特別調査委員会（仮称）の設置について」の2件について事務局から諮り、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席理事全員により各関係先に陳情を実施した。



### 第125回水道事業管理者協議会（11月30日）

はじめに、作新学院大学総合政策学部教授太田正氏より、「水道事業の広域化について～広域化政策の過去・現在・今後を考える～」と題して講演が行われた。

その後、情報交換事項として①浄水場の予備力を考慮した水利権申請について、②災害時の危機管理の考え方について、③浄水場運転管理業務の委託について、それぞれ情報交換を行った。



作新学院大学  
太田教授



#### 第216回衛生常設調査委員会（12月1日）

報告事項として、水質試験方法等調査専門委員会から、①1,4-ジオキサンについて、HS・GC/MS法での一斉分析が可能なこと ②近々、基準項目となる塩素酸について、イオンクロマトグラフ法で分析が可能なこと ③鉄について、ICP/MS（多原子イオン低減化機能付）での一斉分析が可能なこと ④水銀の分析について、還流操作を省くことが可能なこと ⑤改良ポリスチレン濁度標準液について、従来品に比べて泡立ちが少なく保存安定性もあること等の報告を受けた。また、水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会から、JWWA K 135が終了し、現在、K139及び157について行っているとの報告を受けた。

審議事項として、「水道用液体エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 135）」における衛生性部門の改正案について審議し了承された。改正の主要部分は、①管以外のバルブ等の評価方法が示されたこと ②使用される全ての原料が記載されたこと ③浸出試験項目としてトルエン、キシレン及びホルムアルデヒドが追加されたこと ④通水前の十分な洗浄や水質検査等の実施の重要性が付記されたこと等である。



#### 第14回検査施行要項等専門委員会（12月1日）

はじめに任期満了に伴い、正副委員長の互選を行い、委員長に大阪市水道局工務部配水担当課長の宮内委員、副委員長に東京都水道局建設部技術管理課長の山田委員が満場一致で選任された。

続いて、以下の議題について慎重審議し、次回委員会において継続審議することとなった。

- ① 日本水道協会検査制度に関する厚生労働省からの問題提起について
- ② 検査証明書に関する制度の改正について
- ③ 検査制度の効率化に関する検討について

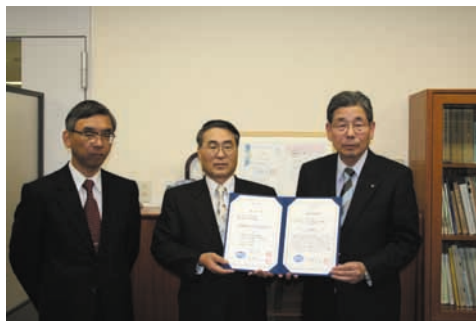
#### 第604回抄録委員会（12月4日）

第604回抄録委員会は株式会社クボタ京葉工場で会議を開催し、委員会審議の参考とするため、工場を視察した。初めに、田畑京葉工場長より施設の概要について説明を受け、工場内を視察、その後、京葉工場内の会議室において第604回抄録委員会を開催し、本誌3月号に掲載する抄録の内容について審議した。



#### 水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



12月5日 仙台市水道局